

平成24年度
実施事業

事務事業名	札幌のぼりべつ交流プラザ
-------	--------------

区分	No	名称
章	3	大地に根ざしたたくましい産業が躍動するまち
節	1	活力に満ちた魅力あふれる産業をつくる
施策	3	活力ある地場産業の育成
小分類	1	新たな事業展開の促進
主要な施策	3	③販路開拓への支援
事務事業番号	002	事業開始年度 平成 8 年度 事業終了年度 平成 - 年度 会計種別 一般会計

部 名	観光経済部	グループ名	商工労政グループ
-----	-------	-------	----------

事務事業の概要 《Plan・Do》

目 的	(事務事業の実施目的を具体的に記入してください)
	札幌のぼりべつ会と市内企業とのネットワークを構築し、札幌圏との経済交流を深めることにより、地域経済の活性化を図ることを目的とする。
事業内容及び実績	(事業内容及び平成24年度の実績を具体的に記入してください)
	札幌のぼりべつ会と市内企業との交流の場として、札幌のぼりべつ交流プラザを開催する。 【事業実績】 ・開催日 平成24年11月16日（金曜日） ・場 所 株式会社開発工営社会議室（札幌市） ・内 容 情報交換（観光入込、登別ブランド、メガソーラー） 講演「登別にほしいもの」 交流会 ・参加者 36人 札幌のぼりべつ会 23人、登別市13人（うち経済関係者4名）
今後の方向性	(次年度以降の事業展開における改善など今後の方向性を具体的に記入してください)
	札幌圏に在住する会員との経済交流を深め、地域経済の活性化を図るため、本年度も引き続き実施する。
根 拠 法令等	(事業を実施する際、根拠となる法令・条例・規則・要綱等の名称を全て記入してください)

事業費（財源内訳）の推移 《Plan・Do》

区 分		単位	H23年度 決算	H24年度 決算	H25年度 当初予算	H26年度 見込	H27年度 見込
国庫支出金	名称	千円					
道支出金	名称	千円					
地方債	名称	千円					
その他	名称	千円					
一般財源	名称	千円	35	11	74	74	74
事業費 合計			35	11	74	74	74

指標の推移 《Check》

区 分		単位	区分	23年度 実績	24年度 実績	25年度 目標	26年度 目標	27年度 目標
成果 指標	① 交流プラザにおける情報交換等 テーマ設定件数	件	目標値	3	3	3	3	3
			実績値	1	4			
	② 交流プラザ参加者数	人	目標値	60	60	60	60	60
			実績値	56	36			

比較		《Check》
平成24年度実施以前又は実施中に見られた課題、問題点等	左記の解決に向け行った取組や対策、工夫等	
<p>・登別市内企業の参加が減少している。特に札幌開催の場合は、より顕著である。</p>	<p>・市内企業側が参加しやすい日程を設定する。 ・企業が参加するメリットを見出せる内容とする。</p>	

担当グループによる事務事業評価の内容（複数回答可） 《Check》

1. 事務事業の妥当性について			
市が事業主体として実施していくべき妥当性の高い事業ですか？	<input type="radio"/>	① 市が主体に行うべき事業である	判断理由及びその他所見 市内企業と札幌圏との経済交流が目的であることから、登別商工会議所等が主体となり、実施することも可能である。
	<input checked="" type="radio"/>	② 民間(事業者、市民団体等)でも実施可能である	
	<input type="radio"/>	③ 国、道、他団体等との連携や広域化が可能である	
	<input type="radio"/>	④ 国、道、民間等の事業と重複・類似している	
2. 事務事業の必要性について			
市民ニーズの状況等から勘案して、必要性の高い事業ですか？	<input type="radio"/>	① 市民、団体等から具体的な要望がある	判断理由及びその他所見 地域経済の振興を図るため、札幌のほりべつ会の人脈を生かし、大消費地である札幌圏の企業や経済界とつながりを持つ必要がある。
	<input type="radio"/>	② 市民アンケートの結果から必要性が高い	
	<input checked="" type="radio"/>	③ 社会情勢、地域事情等から必要性が高い	
	<input type="radio"/>	④ 市民の大部分が関連することから必要性が高い	
3. 事務事業の効率性について			
事業内容とコスト(事業費)のバランスがよい効率性の高い事業ですか？	<input checked="" type="radio"/>	① 低予算、少労力で高い効果をあげている	判断理由及びその他所見 少労力とは言い難い部分はあるものの、比較的費用対効果の高い事業である。
	<input type="radio"/>	② 市で実施するほうが民間委託より効率性が高い	
	<input type="radio"/>	③ 多額の経費や労力を要するがやむを得ない	
	<input type="radio"/>	④ 将来的に効率性を向上できる	
4. 事務事業の成果について			
目的を達成するための成果はあがっていますか？	<input type="radio"/>	① 成果指標の向上が見られる	判断理由及びその他所見 市内事業者等と札幌のほりべつ会の会員の人脈づくりが促進され、販路拡大等への足がかりとなっているが、数値等により成果を把握することは難しい。
	<input type="radio"/>	② 市民、団体等の声から成果を感じられる	
	<input type="radio"/>	③ 目に見える形で成果があがっている	
	<input checked="" type="radio"/>	④ 成果の把握は困難である	

①担当グループによる評価 《Check》

維持	左記の評価を選択した具体的な理由(根拠)	情報交換会・交流会等において、相互交流が図られている。今後も、交流による人脈形成が図られことにより、地場産品等の販路拡大や市内経済の活性化に波及することが期待される。
-----------	----------------------	---

②行政評価会議による評価 《Check》

維持	備考
-----------	----

③総合的な評価(当該事務事業の方向性) 《Action》

維持	備考
-----------	----

〔評価区分〕

- ◆拡大(事務事業の目的を達成するために事業の規模や経費の大幅な変更が必要な事業)
- ◆維持(事業内容の根幹にかかわる部分については変更せず、不断の点検・検証による効率的な経費の活用や軽微な見直しを行い、継続的に実施する事業又は、事業計画等で予め年次的に実施する事業内容等を定めており、実施年度によって経費や実施個所等に変更が生じる事業)
- ◆改善(当該事業の目的を達成するために、現状の手段や経費、事業の方向性等、事業の根幹に関わる部分について見直す事業)
- ◆休止(暫定的に休止する事業)
- ◆廃止(事業の開始当初から目指していた成果が得られたなど、目的が達成された事業)
- ◆終了(事業の開始当初から予定していた事業期間が終了した事業)